

人材育成を通じた組織強化

～造園業と青年中央会の未来に向けて～

河野造園土木株式会社 代表取締役社長

山梨県中小企業団体青年中央会 会長 河野 嘉孝 氏



当社は、昭和48年4月に設立、庭づくり・ガーデニング、外構（玄関廻り・アプローチ・駐車場など）工事、庭の維持・管理、公共造園・土木の業務を行っています。

造園業の素晴らしいところは、庭が完成した時がお客様との長い付き合いの始まりになるということです。季節とともに年月とともにその庭がどんな変化をしていくのか、管理させてもらいながら10年後、20年後の姿まで見ることができるのがこの仕事の魅力です。当社では、社員一人一人に現場単位で担当を任せ、最初のお客さんとの打ち合せから、設計、見積り、施工、完成後のアフターフォローまで全て一人でこなせるようになることを求めています。造園技術を習得するには少なくとも10年ぐらいはかかりますが、経験者を中途採用するよりも若い人材にゼロの状態から勤めてもらいたいと考えています。そのため、他の造園会社より社員の平均年齢はかなり若

い会社です。一人でも多くの優れた「造園家」を育てていきたいと考えています。

また、6月3日に開催された山梨県中小企業団体青年中央会の通常総会で、新会長に就任しました。

中小企業は地域の経済循環と雇用を支える重要な役割を果たしています。青年中央会では、若手の中小企業者の連合組織として、それぞれの中小企業が経営基盤を強化し持続的な成長につなげられるように組織や企業間連携を活かした取り組みを強化して行きたいと考えています。そのために、中小企業と組合の次世代を担う若手経営者や後継者育成のための講習会、業種を超えたネットワーク構築のための交流会等を積極的に実施し、会員の連携強化を図っていききたいと思います。

各社の成長発展と山梨県経済の維持拡大のため、各組合の若手経営者の皆さんの新規青年部の創設と青年中央会への加入をお待ちしています。